

2023年度 地域経営学科 総合型選抜

小論文テーマ2

出題意図

会計は経営にとってなぜ重要なのか。それは、会計には企業の経済活動を数字で表すことを通じて、企業の現在の状態を知り、将来の経営計画の進むべき方向を指し示す役割があるからである。また、「財務会計」は経済活動の結果としての報告書を定期的に外部の利害関係者に報告する会計であり、「管理会計」は内部の経営管理者を支援する会計であると言える。どちらも、企業が事業を遂行していく上で必要不可欠なものであることについて理解し、簡潔に述べることができるかを問う問題である。

<解答例>

財務会計とは、期間損益計算を行って配当可能利益を算定するとともに、投資意思決定に必要なかつ有用な情報を、企業外部の利害関係者に提供する会計である。つまり財務会計の役割は、一定時点における財政状態、一定期間における経営成績、キャッシュ・フローおよび資本の変動に関する情報を財務諸表として、定期的に外部の利害関係者に開示して会計責任を果たすことにある。

一方、管理会計とは、最高経営者を頂点とする企業内部の各階層の経営管理者のために、企業の経済活動を測定・伝達する会計である。つまり管理会計の役割は、戦略を策定し、経営意思を決定し、マネジメント・コントロールおよび業務活動のコントロールを行うことで、経営者を支援することにある。

また、財務会計と管理会計の違いについて、財務会計は企業外部に存在する多種多様で無数の利害関係者に重大な影響を及ぼす可能性が高いため、会社法、金融商品取引法、法人税法などの法規制が必要となるが、管理会計は企業内部における経営上の意思決定と計画設定、各管理者の業績評価と統制など、その具体的な内容は企業の特性や経営戦略によって多様であることから、法規制を受ける必要がなく、経営者自らが必要に応じて決定する。加えて、財務会計は利益配分のため、客観性・検証可能性を重視することから業績結果である過去の情報を主に扱うが、管理会計は利益獲得のため、過去の結果情報だけではなく、現在や未来の予測情報などに関する会計記録と報告書も利用される。

(623文字)

違い：情報利用者、会計機能、法規制の有無、情報の特性、時間的差異など